

## 総合案内

*Ecological Research* のデータアーティクル (旧データペーパー) の目的は、あらゆる生態的プロセスについての優れた調査データおよびメタデータを電子情報として保存し、それらを公に利用可能にし、生態学の発展に大きく貢献することにあります。

## 査読過程

データアーティクルの査読過程では、第一に生態学的な重要性および全体の質が評価されます。また、アーカイブとしての有用性を維持するために技術的な検討もされます。技術的な部分の査読の責任はデータアーティクル担当編集者にあります。データアーティクルの審査基準は、データのオリジナリティが高いかどうか、生態学的に重要であるかどうか、内容が十分に記載されているかどうか、データ形式が適切かどうか、などです。データは生態学の発展に寄与するものでなければならず、再利用に適していることが求められます。長期的かつ大規模な生態学的研究を特に歓迎します。

## 出版

*Ecological Research* には、データアーティクルとして、タイトル、著者名、所属、連絡先、抄録、キーワード、メタデータ (データセットに関する記述)、データおよびメタデータを公開しているオープンアクセスリポジトリのウェブサイト URL が掲載されます。抄録、キーワード、URL へは読者は無料でアクセスできます。メタデータ概要は、日本長期生態学研究 (JaLTER) ネットワークが管理運営するオープンアクセスリポジトリでも公開されます。データは、JaLTER ネットワークリポジトリか、他のオープンアクセスリポジトリ (ファイルサイズが JaLTER ネットワークの制限を超える場合など) のいずれかに、出版前 (採択後) にはアーカイブされている必要があります (ファイルサイズの制限に関する項、および付記 1 参照)。JaLTER ネットワークを利用せず、他のオープンアクセスリポジトリを利用したい場合は、著者はデータアーティクル担当編集者と協議してください。著者は投稿前にリポジトリを利用しデータを公開することもできます。

## データポリシー

全てのデータアーティクルのデータおよびメタデータは公に利用可能にしなくてはなりません。JaLTER ネットワークにアーカイブされたデータおよびメタデータは、JaLTER ネットワークのデータポリシーに従います。

<http://www.jalter.org/en/datapolicy/>

## データの永続性

*Ecological Research* はデータ自体には DOI を付与できません。データの永続性を長期的に担保するのは、データがアーカイブされているオープンアクセスリポジトリ（JaLTER ネットワークを含む）であり、*Ecological Research* はデータへのアクセスを妨げるいかなる問題に対しても責任を負いません。

## 著作権

*Ecological Research* に出版されたデータアーティクルの著作権は日本生態学会に帰属しますが、データおよびメタデータの著作権は著者が保持します。データのライセンスは、Creative Commons CC BY 4.0 international (CC BY, CC BY-SA) (<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en>)などのオープンデータライセンスが望ましいです。

## 原稿の準備

### 原稿の構成

データアーティクルは、(1) 抄録とキーワード、(2) データについて記述した引用文献付きのメタデータ、(3) 研究データが保存されている電子ファイルの3つから構成されます。

#### (1) 抄録とキーワード

抄録（250ワード以内）とキーワード（5つ以内）を記述してください。

#### (2) メタデータ

メタデータは、データ内容の記載です。二次利用者がデータの本質や特徴を明確に理解できるように、メタデータを詳細に記述してください。データの際立った特徴を説明する、絵、図、写真（調査地の写真など）、概念図、簡単な統計の要約を、メタデータに含められます。連続した表番号と図番号を付与してください。メタデータは、全般的に *Ecological Research* の投稿規程に従います。

メタデータはセクションに分かれた構造化された文書としてください。構造は主にデータの特性に依存しますが、「推奨される構成ガイド」も参考になるでしょう。メタデータの基本的な構成は以下の通りです。

- **序論:** データの背景と生態学的意義を記述してください。
- **手法:** データがどのように収集され、どのようにそのデータセットが作成されたか、詳細な情報を記してください。実験デザイン、計測手順、薬品名・機器名、データの質を検証する方法は、二次利用者がデータの性質を理解するために重要です。

- **データの内容:** データファイルの物理的な構成（例：各データ列の説明）、値の単位、異常値・外れ値・欠損値を示す記号、その他データに関するあらゆる追加情報を詳しく述べる必要があります。国際単位系（SI 単位）を使用してください。
- **謝辞:** 可能な限り簡潔にしてください。記載が義務付けられている助成金については言及できます。助成組織は、正式名称で記載します。なお、国際共同研究を含む、データをサポートする研究プロジェクトの詳細情報（プロジェクト名や担当者）は、プロジェクトについて記載するセクションに記述します（「推奨される構成ガイド」参照）。
- **引用:** データセットに関する文献情報は二次利用者にとって有益です。もしデータセットに関連する別のデータセット（例：同じ場所で、異なる観測手法で収集されたデータ）がある場合は、それを引用してください。

### (3) データファイル

著者は投稿前に、データの正確性、信憑性を確認する必要があります。データは読み取り可能で、二次利用者にその意味が明瞭でなければなりません。異常値、外れ値、あるいは欠損値がデータに含まれる場合には、それらの値を特定できるように、わかりやすい番号やシンボルをつける必要があります。

データは論理的で一貫性のある形式にしてください。表データは、カンマ、タブ、スペースで値を区切るテキストファイル形式(.txtまたは.csv)とします(文字コードは UTF-8)。例えば、Microsoft Excel では、CSV UTF-8（カンマ区切り）形式でファイルを作成することができます。デジタル地理空間データは、一般的な GIS ソフトウェア（QGIS [<https://qgis.org>]など）で読み取り可能な形式で投稿してください。データをほかの形式で投稿する場合は、データアーティクル担当編集者に事前に相談してください。複数のファイルには、それぞれに簡潔でわかりやすい名前を付けてください（各 30 文字以内）

#### ファイルサイズの制限

著者はデータのアーカイブに JaLTER ネットワークリポジトリを利用できます。ただし、JaLTER ネットワークリポジトリには、1 データセットあたり 1 GB、1 ファイルあたり 512 MB のサイズ制限があります。この制限を超えるデータを公開したい著者は、他のオープンアクセスリポジトリの利用をご検討ください（付記 1 参照）。

#### 技術的アドバイス

データアーティクルに関する技術的な質問は、データアーティクル担当編集者までお寄せください。

## 投稿

タイトルページ（タイトル、著者名、所属、抄録、キーワード）とメタデータ（データセットに関する記述）を Word ファイルで作成し、投稿してください。データファイルは、*Ecological Research* ScholarOne 原稿投稿システムに、“Supporting Information for review and online publication only”としてアップロードします。ScholarOne 原稿投稿システムでは、1 ファイルあたり 300MB まで投稿可能です。データファイルがそれよりも大きい場合には、個人のクラウドストレージなどのダウンロードリンクで提出してください。ダウンロードリンクは、別の“Supporting Information for review and online publication only”ファイルとして提出し、著者はカバーレターに、査読用の大容量データファイルのダウンロードリンクを利用することを明記してください。

## 採択後

### データへのアクセス可能な URL

論文が採択された場合、抄録の末尾および本文中に、データおよびメタデータ概要を利用可能なウェブサイト（JaLTER ネットワークリポジトリ）の URL の記載が必要です。著者がすでに他のオープンアクセスリポジトリ（付記 1 参照）に同じデータを保存している場合は、リポジトリの相互利用を促進するため、その URL の記載も推奨します。

### 抄録末尾の例文

The complete dataset for this abstract published in the Data Article section of the journal is available in electronic format in MetaCat in JaLTER at [http://sample\\_URL.org/](http://sample_URL.org/). The dataset itself is also available on the GBIF website at [http://sample\\_URL.org/](http://sample_URL.org/).

### 原稿採択後のポストプリントファイルの準備

採択された原稿のポストプリントファイルは、編集部を介して、JaLTER が管理するリポジトリ（MetaCat）に詳細メタデータ（Data descriptor）として公開でき、編集部はこの公開を強く推奨しています。ポストプリントファイルが JaLTER のウェブサイトで公開されると、潜在的なデータ利用者は、データファイルやメタデータ概要に加え、オープンアクセスではない *Ecological Research* のデータアーティクルの出版版の詳細な記載にも、自由にアクセスできます。

### アップデート

Wiley に掲載された内容（すなわち出版されたデータアーティクル）は更新されません。一方で、採択されたデータファイル、詳細メタデータ（Data descriptor）およびメタデータ概要は、JaLTER のウェブサイトからアクセス、更新が必要に応じていつでも可能です。著者連絡先や、データファイルやメタデータの更新が必要な場合は、編集部までお知らせください。

ただし、出版されたデータアーティクルとの整合性を確保するため、採択されたバージョンのデータファイルと詳細メタデータ (Data descriptors) 自体を置き換えることはできません。更新ファイルを追加する際には、採択されたバージョンと明確に区別できるファイル名 (例えば、採択されたバージョンを "X\_DB\_published\_in\_ER\_on\_mmyyyy.csv", 更新されたバージョンを "X\_DB\_updated\_on\_mmyyyy.csv") をつけてください。日本生態学会と JaLTER は、一般にアクセス可能なアーカイブを JaLTER データベース上で長期的に管理します。JaLTER 以外の他のオープンアクセスリポジトリ (付記 1 参照) で公開されたデータについては、著者の責任でメタデータの変更と同時に更新してください。

#### 付記 1

データアーティクル担当編集者が承認する、JaLTER ネットワーク以外のデータをアーカイブするためのオープンアクセスリポジトリのリスト (2020 年 8 月 7 日現在)

- Dryad (<https://datadryad.org/>)
- Figshare (<https://figshare.com/>)
- GBIF (for biodiversity data only) (<https://www.gbif.org/>)

GBIF グローバルネットワークにデータを掲載したい場合は、著者は自国または地域の GBIF のノード (日本では GBIF Japan = JBIF) に連絡してください。

<https://gbif.jp>

*Ecological Research* は、特に指示のない限り、これらのオープンアクセスリポジトリへのデータ更新費用は負担しません。

この投稿規定は英文版が原本です。和文規定が原典と異なる場合は、英文版が優先されます。

*Ecological Research* 編集部 Email: [ecores "at" esj.ne.jp](mailto:ecores@esj.ne.jp)

[Published 1st September 2023]